



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・節分に興味を持ち、活動を通して雰囲気を楽しむ
- ・生活リズムを整え、風邪などの感染症にかからない体づくりをする



ひよこぐみ(0歳児)



まだまだ寒い日が続いていますが、子どもたちは寒さに負けず元気いっぱいに過ごしています。先月は、お手製のはねつきやこまわし、風揚げなどのお正月遊びを楽しみました。こまわしではクルクル回る様子に興味津々で、自分でも回してみようと一生懸命な姿が見られました。公園ではビニール袋で作った風のひもをギュッと持って走り、風が風に舞う様子を見て楽しんでいました。お正月遊びを通して、昔からの遊びの雰囲気を感じることができたと思います。最近では、給食後のおしぼりで口元を拭いたり、くつ下や帽子の身支度をする仕草など、自らの意志で何かをしようとする自主性が見られるようになってきました。今後も基本的な生活習慣が身に付くよう、丁寧に伝えていきたいと思っています。



うさぎぐみ(1歳児)



寒さが一段と増す時期になりました。子どもたちは戸外で風揚げをして元気に走り回っています。子どもたちのお気に入り、自分で絵を描いた世界に一つだけの風。「これは〇〇の〜!」と言って、公園で風揚げを楽しんでいます。こまやだるま落とし、福笑いなど様々な正月遊びも楽しめました。動物版の福笑いでは目、鼻、口を自分が思うように配置し、面白い顔になると指差しながら大笑いする姿が見られました。製作をすることが好きなので、これからも子どもたちと一緒に物づくりを楽しみ、遊びの展開につなげていこうと思います。子ども同士の関わりも増えてきました。ますます行動範囲が広がり、動きがダイナミックになっていくので、怪我のないように見守っていきたいと思います。



ぱんだぐみ(2歳児)



いつも楽しく賑やかな声がこだまする室内で過ごす子どもたち。お正月遊びでは、紙皿で作った羽子板で羽根つきに挑戦しました。最初は、羽根に見立てた風船を羽子板でつくことが難しそうでしたが、繰り返し挑戦していくうちにメキメキと上達! 時間が経つことを忘れるくらい夢中になって遊んでいました。給食では、フォークから箸への移行を始めた子が増えてきました。少しずつ箸を使うことにも慣れ、食材を掴めると「先生、見て! できたー!」と得意げに見せてくれます。「上手にできた!」の喜びをが自信につながっているようです。この他にも排泄や衣服の着脱など生活基礎習慣が身についているので、定着するように見守り、必要に応じてサポートしていこうと思います。残り2ヶ月となりましたが、お友だちと過ごす時間を大切にしながら、楽しい思い出ができるように過ごしていきたいです。



～行事予定～

- ・音楽教室…2日
(2歳児)
- ・節分会…3日
- ・リミック教室…10日
- ・身体測定…13日
- ・誕生会…16日
- ・避難訓練…18日
- ・体操教室…19日
- ・英語教室…25日



～今月のうた～

♪ ゆ き

♪ おにのパンツ

春一番

立春から春分までの間に強く吹く南からの風を「春一番」といい、春の訪れを告げる風物詩です。春一番が吹くと暖かくなりますが、その後に再び寒くなる「寒の戻り」にも気をつけなければなりません。出かける際は気温の変化に対応できるような服装をし、体調を崩さないように気をつけましょう。



給食だより

2月3日は節分です。節分とは立春の前日で、冬が終わって春に移るといふ季節の変わり目を意味します。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられています。節分は「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という意味を込めて、邪気(鬼)を追い払い、良いもの(福)を招き入れるための日本の伝統行事です。代表的なものに豆まき、恵方巻き、終鰯があります。豆まきで使われる大豆は、肉と匹敵する良質なたんぱく質を豊富に含んでいることから「畑の肉」とも言われています。大豆に含まれるたんぱく質は良質で吸収も良く、肉に比べ脂質の割合も低いのでカロリーも控えめなのが特徴です。大豆には体をつくるもととなるたんばく質のみならず、成長期に欠かせない丈夫な骨をつくるカルシウムや貧血を予防する鉄分が豊富に含まれています。また、お腹の調子を整える食物繊維も多く含まれています。ビタミン類も豊富で油と合わせて摂ることで吸収が良くなります。大豆は様々な食品や調味料の原料に使用されており、私たちの生活に欠かせない食べ物です。保育園の給食でも、豆腐をはじめ納豆、油揚げ、おから、豆乳、きなこなど積極的に大豆製品を取り入れています。暦の上では春ですが、まだまだ寒さが続きますので風邪をひかないよう元気に過ごしましょう。